

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0170502389		
法人名	有限会社 敬友		
事業所名	グループホームいずみの里 (ユニット そよかぜ)		
所在地	札幌市白石区北郷2条1丁目7番3号		
自己評価作成日	平成26年7月15日	評価結果市町村受理日	平成27年8月26日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2014_022_kani=true&JigyosyoCd=0170502389-00&PrefCd=01&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	有限会社 ふるさとネットサービス
所在地	札幌市中央区北1条西7丁目1 あおいビル7階
訪問調査日	平成 27 年 7 月 28 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

職員はユニット目標である「笑い」の色紙を目に触れるようにユニット内に掲げ、入居者様が明るく、楽しく、笑いのある豊かな暮らしで「その人らしく生きる姿」を暖かく支えながら良い関係性・絆が築け安心して暮らして頂けるようにと心がけ、常に自己研鑽に努め家族の一員であるとの思いで、食事やお茶の時間も一緒に過ごし、笑いのある日々を演出し、不安、混乱等にも傾聴と関わりで安心と笑顔が取り戻せるように寄り添いながら生活を共にしております。
認知症を正しく理解し、気持ちを察してフィーリング、感情の交流を大切にしてコミュニケーションを図り、毎日がゆったりと安全に、安心して過ごして頂けるように関わり、受け止め、見守り、待つ姿勢で心に余裕を持ち、息抜きの工夫とチームで話し合い、知恵を出し合い実践を重ね感性を磨き共に歩んでおります。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

V サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取組を自己点検した上で、成果について自己評価します

項目	取組の成果 ↓該当するものに○印	項目	取組の成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向をつかんでいる (参考項目:23、24、25) ○ 1 ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんどつかんでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9、10、19) ○ 1 ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18、38) ○ 1 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2、20) ○ 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) ○ 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) ○ 1 大いに増えている 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36、37) ○ 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11、12) ○ 1 ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) ○ 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う ○ 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30、31) ○ 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う ○ 1 ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28) ○ 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念を作り、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「敬う心、尊厳ある暮らし」が基本理念であることを日頃から念頭に入れ、そして地域、ご家族様などと密接にとり関係性を深めています		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域との交流を深めるため小学校の行事、地域の催し物などは積極的に参加し、さらに行事案内などのご招待なども必ず参加をしている		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	事業所主体の行事なども地域の方、ご家族の方を招待しありのままの姿を見て頂いている。また生活している姿に接してもらえるようホームをいつも解放し認知症の理解を深めてもらっている		
4	3	○運営推進会議を活かした取組 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域包括センター職員、民生委員、町内会、そしてご家族様に2か月ごとにサービスの内容を報告させていただき、そして話し合われた意見やアドバイスを日頃に反映させている		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	キャラバンメイト活動への協力等、協働、連携を大切に、複雑・困難事例、疑義解釈、国保連、地域包括センターへ問い合わせ・相談しながら解決の方向を探るようにしている		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束ゼロを維持するため日々の申し送り、掲示板等で意識付けを行っている日頃のケアの振り返り、尊厳に配慮した身体拘束のないケアを心掛け、日中は施錠せず夜間のみ防犯のため施錠を行っている		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	研修や勉強会を開催し、事故報告、ヒヤリハット報告の記載で情報を共有し会議や申し送りの際意識付けを行っている。再発防止に向けて、虐待につながるよう防止の徹底に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	職員一同は研修などを通じて、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち入居者様に合わせた支援につなげている		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約や解約等の際はご本人やご家族等に納得いくように説明し、理解していただくよう図っている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご本人や家族等からの意見や要望を管理者や職員等が運営に反映させている		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	代表者や管理者は職員の意見や提案を聞く機会を取り入れ運営に反映させている		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は管理者や職員個々の努力実績、勤務状況を把握し給与ややりがいなど向上心を持って働いてもらえるよう職場環境を整えている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	代表者は職員一人一人の力量、性格を把握したうえで研修を受ける機会や日常のケアをしていくことを進めている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組をしている	代表者は職員等が同業者と交流できるよう勉強会や相互活動をしてサービスの向上を目指している		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービスの利用を開始した時から本人の要望、不満、何が好むことなのかを聞いたり感じたりしてご本人が安心して楽しく過ごせるような関係づくりに努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービスの利用を開始した時からご家族等の不満、要望を聞き入れ関係づくりに努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービスの利用を開始した時からご本人とご家族等が今一番必要としている支援を他のサービスと合同して対応に努めている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員はご本人たちと分けた立場に置かず一緒に過ごし生活しているという事を意識し関係を築いている		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員は一方だけに傾聴するのではなくご本人とご家族のつながりを大切にしご本人を支えていく関係を築いている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人が安心、親しみを持っている場所での関係が途切れないよう、地域でのお祭りなどに参加している		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士が孤立や喧嘩など起きないように支え合える支援に努めている		
22		○関係を断ち切らない取組 サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスが終了しても今まで同様に関係性を大切にし必要に応じては、ご本人、ご家族の相談や支援に努めている		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人が無理せず考え事や暮らし方の希望を把握しご本人主体となり検討している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人との普段の会話の中で聞き取るとともに、ご家族からも情報収集を行い可能な限り把握するようにしている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご本人の行動や会話を日常記録に記入、職員全員で把握している。出来る事、できないことを日常生活記録などで把握し、その方に合ったやり方のできる限り行っていただき生きがいと思えるよう支援に努めていく		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人がよりよく暮らすために職員やご家族、関係者とよく話し合い、アセスメントやモニタリングの結果を基に介護計画を作成している		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者様の日々の様子や変化を日常記録に個別に記録している。また、申し送りノートや受診記録の活用で職員間で情報の共有を図り計画に生かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとられない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人やご家族の状況に応じ、受診介助、外出支援、外泊などの必要なサービスに対応し個々の満足が得られるように取り組んでいる		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	さまざまな地域資源を把握し、周辺施設や町内会の協力のもと地域の一員として豊かな暮らしが営めるよう支援している		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人、ご家族の希望のかかりつけ医がいる場合はその希望に対応し、ご家族の協力を得ながら支援している		
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	何かご利用者に変化がみられるときには看護師に気軽に相談でき、指示を仰げる体制が整っている。また医師との橋渡しもして下さるため適切な看護を受けられている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている、又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先や、かかりつけ医と密に相談していることにより、入退院の受け入れをスムーズに行い情報交換によるご利用者の状況等共有することを心がけている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所であることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者とともにチームで支援に取り組んでいる	日頃より状態が重度化したり終末期について、ご家族と密に連絡を取りながら提携先の病院と相談し今後の方針について話し合いを行っている		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	全ての職員は講習や実技、指導を受け技術を身に付けている。急変時には連絡網等によりスムーズに対応できるよう取り組んでいる		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に防火訓練、点検を行いよりの確に避難、誘導できるよう心掛けている。また、緊急の際は地域との連携も確立できている		
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご利用者一人一人日頃のかかわりの中で否定的な言動に配慮し、寄り添い、見守り、羞恥心にも気を配り関わっている		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご利用者の欲求に対してゆっくと関わりを持ち、表面だけでなく思いを汲みながらコミュニケーションを図り関わる事で自己決定できるよう働きかけている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望に沿って支援している	個々を尊重し一人一人に寄り添い毎日を穏やかに過ごせるような支援の実施、外出や行事等定期的に実施し楽しく過ごせるよう支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	普段よりどんな服を着たいか、季節に合った服を選んだり、その日に合ったおしゃれの支援を行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の要望に応えられるよう、買い物の際に購入し提供している。また、準備や片付けについても声掛けを行い一緒に行う機会を作っている		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分は一日のトータルを意識して、足りない時は好みの物を提供し不足しないよう努めている。ご利用者の状態に合わせて糖分やとろみ等個々に合わせた対応を行っている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	ご利用者全員、毎食後ケアに努めブラッシング等行い口腔内の状態を把握している。気になる場合は訪問歯科を通じ指導して頂き改善につなげている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	日常記録、各スタッフと情報共有を行い排泄パターンをつかむと同時に個々に合わせた排泄誘導を行っている。また、リハパンから下着に変更したりと試行錯誤をしている		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日々の食事作りにおいてバランスよく作るよう心掛けている。また水分不足にならないよう対応、便秘の時には医療につなげ改善に努めている		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に沿った支援をしている	ご利用者の思いを大切に後が良いと言われたら時間をずらす、いちばんが良いと言われたら最初に入れるようご利用者の気持ちを尊重している		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人一人が安眠できるよう理念、パジャマを季節に合わせている。テレビを見たい等個々の状況に合わせている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	事務所に個人ファイルを保管しており一人一人が使用している。新しく処方される薬についても医療からつなげて頂き変化の確認等を行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	季節や地域の行事等個々の施行に合わせて楽しむ機会を作っている。また暮らしの中で得意なこと、出来る事を把握し一人一人の力を生かせる機会を見つけ支援している		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望に沿って、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	その日の希望、気分配慮して、買い物や散歩ドライブ等戸外へ出かける機会を作っている		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個々の希望や力に応じてお金を所持してもらっている。また預り金を管理しており希望時に使用できるよう支援している		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話を掛けたり手紙を出される方は少ないが電話を取り次いだり希望された場合には都度対応している		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に合った装飾づくりや行事などの写真を貼り、落ち着ける空間になるよう努めている。また必要に応じて遮光したり室温、湿度の調整、換気を行い快適に過ごして頂けるようにしている		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	本人の好きな場所でテレビを見たり新聞を読んだり、気の合う同士で話をしている。また状況に応じて座る席を誘導し落ち着いて過ごせるように支援している		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に大切にしていた仏壇や使い慣れた家具を持参して頂き、安心して過ごせる居室づくりを心掛けている。入居後も相談しながらその時の生活に応じた居室になるよう工夫している		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	共用部分では他者に影響がない範囲で個々に応じて工夫をしている。夜間は照明を付けることで移動しやすいよう安全自立を支援している。		